

くりやま ぎかいだより

No.158

2019年(平成31年) 2月1日
発行／北海道栗山町議会



スピードに気をつけて！

栗山スキー連盟「キッズスキー教室」(2019.1.2)

第6回定例会 2

町政に聞きたい5議員が一般質問 6

平成31年議会報告会 13

12月定例会

12月11日～13日

ふるさととは栗山です。(まちづくりの合言葉)

～誰もが笑顔で、安心して暮らすまち～ (まちの将来像)

基本理念

- ①情報共有のまちづくり
- ②町民参加のまちづくり
- ③連携協働のまちづくり
- ④持続可能な自律したまちづくり

重点政策方針

- ①子どもたちの笑顔が輝くまち
- ②生涯を自分らしく暮らすまち
- ③人と自然が共生するまち
- ④地域の潜在力を活かすまち

第6次総合計画基本構想及び基本計画の改定を特別委員会に付託

▲改定の概要▼

「生活環境」5分野全25事業

広域共同処理による安定したごみ処理体制の確立や地域と連携した防災体制の構築、高齢運転者の免許証自主返納支援制度の創設

「教育」6分野全53事業

地域と連携したふるさと教育やキャリア教育の推進、介護福祉学校の学生確保対策、栗山高等学校の生徒確保に係る支援制度の拡充や魅力づくり、文化振興基金を活用した地域文化の振興

「医療・保健・福祉」6分野全28事業

継続事業に加え、妊産婦タクシー助成制度や育児応援企業への奨励金制度の創設、ケアラー支援推進条例の制定、ふるさと福祉基金を活用した障がい者の生活・就労支援など

「産業」4分野全27事業

省力化やコスト低減に向けた農業ICT技術の導入支援、賑わいある商店街づくりに向けた活性化計画の策定、新規起業・創業を促進するための支援制度の創設、関係機関と連携した新たな観光推進組織の設置など

「都市基盤」5分野全28事業

町営バスの運行体系の見直し、雨煙別川のかわまちづくり、新町地区の再開発整備事業の推進や継立中学校の跡地活用、角田地区への商業施設誘致など

「地域経営」3分野全26事業

町内会・自治会の区域再編に対する支援制度の創設、災害時の情報伝達手段を兼ねたコミュニティ放送局の開設など

～町民の皆さんと歩んで15年～ 徹底した情報公開と住民参加を目指して

平成31年議会報告会

平成31年2月3日(日)～11日(月) 全12会場で開催

※詳しくは13ページをご覧ください

農業ICTの利活用を支援

農業機械の無人操舵装置導入へ



農業へのICT利活用が進んでいる

21号により被災した農業者への災害復旧支援
3232万円

▼玉葱セレクター等導入
整備事業
玉葱選果用機械及び施設
の整備 1100万円

▼自動操舵装置等導入支
援事業
衛星システム（GNSS）
を活用した農業用機
械の整備 2420万円

▼長沼スキー場における
スキー授業の実施
栗山町スキー場の営業停
止により、各小中学校及
び栗山高等学校がスキー
授業を実施するための費
用 181万円

▼職員時間外手当
今後不足が見込まれるた
め追加 1800万円

▼特別冬期生活支援金
高齢者等に対する暖房用
燃料費等の一部を助成
110万円

▼被災農業者向け経営体
育成支援事業
胆振東部地震及び台風

平成30年度歳入歳出
予算の総額にそれぞれ
2億4011万7千円を
追加し、歳入歳出の総額
88億8187万1千円と
しました。主な内容は次
のとおりです。

補正予算

質

疑

授業時間への影響は
影響はないと考える

榊崎議員 スキー授業が
長沼スキー場で行われる
が授業時間や指導員の確
保に変化は。

教育次長 栗山町から10
分程度の場所であり授業
には影響はないと考え
る。また、これまで同様
にスキー連盟に支援をお
願いする。

榊崎議員 角田小学校の
暖房設備の更新は耐用年
数に関わるものか。

教育次長 保守点検で修
繕の必要を指摘され、昭
和61年の設置後、未更新
であったことから、次年
度、更新するために本年
度中に実施設計をする。

土井議員 自動操舵装置
等導入支援事業の具体的
な内容と対象戸数は
産業振興課長 道の地域



なり手が不足する交通安全指導員

づくり総合交付金を活用
した農業用機械や農業用
のドローンの導入に対す
る支援。以前より地域農
業者から要望があり、今
回の対象数は18戸で、自
動操舵13機、農業用ド
ローン7機である。
重山議員 交通安全指導
員は、子どもの交通安全
の上で必要だが、追加に
至った背景は。
住民保健課長 交通安全
指導員のなり手がなかな
かおらず、条例上40人の
定員のところ、4月時点
で33名である。今回、現
指導員から受諾してもら
える人がいると紹介があ
り、追加となった。

その他の補正予算

◆国民健康保険特別会計
補正予算（第3号）
国保制度改革等に伴うシ
ステム改修等
1472万9千円追加

◆北海道介護福祉学校特
別会計補正予算（第4
号）
女子学生寮の給水設備取
替修繕 38万9千円追加

◆後期高齢者医療特別会
計補正予算（第2号）
後期高齢者医療保険基盤
安定負担金の確定
183万3千円減額

◆水道事業会計補正予
算（第2号）
北海道胆振東部地震によ
る配水管破損修繕費等
285万円追加

◆下水道事業会計補正
予算（第3号）
北海道胆振東部地震によ
る下水道管破損修繕費等
708万2千円追加

条例

◆職員給与に関する条例の一部を改正する条例
平成30年度人事院勧告において、給料を平均0・2%、期末勤勉手当の支給率を0・05カ月分引き上げという勧告がされたことによる改正です。

◆特別職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例
支給率を職員に準じていることから、人事院勧告の内容を踏まえての改正です。

◆栗山町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
支給率を職員に準じていることから、人事院勧告の内容を踏まえての改正です。



産業福祉常任委員会で新観察飼育舎を調査

◆栗山町ファールブルの森観察飼育舎条例を廃止する条例
平成3年に栗山公園北西の高台に設置以来、27年が経過し、建物の老朽化や利用者減少等が進んでいました。

◆道央廃棄物処理組合規約の一部変更について
昨年7月、その機能をふれあいプラザに移転・統合したこと、今年度末をもって施設が廃止

されます。

施設の跡地については今後、利活用の検討が進められる予定です。

廃棄物焼却施設建設に要する経費の関係市町負担割合について、その算出根拠となる平成42年度における焼却対象物の年

間処理量を変更するもので、千歳市の人口増加に伴い、処理量を変更することを決定しました。

質

疑

ボールパークの影響は排出量抑制を協議

重山議員 北広島市にプロ野球球団が移転するが、それに伴い処理量が増えることが想定されるが、再度の変更は考えられないか。

環境政策課長 ボールパークからの排出ごみ量を見通すには、球団からの提示に時間を要すること、仮にごみ処理量に変更する場合においては、施設規模に変更が生じないようにリサイクル率を高めるなど抑制について球団と協議を進めることになっている。

意見書を提出しました！

日米物品貿易協定交渉に関する意見書

北海道農業は、専門的な農家などが主体となり、重要品目である米・麦、大豆、てん菜、馬鈴しょ、牛肉・豚肉、乳製品などを中心として、安全で安心な農畜産物の安定供給を図っている。加えて、地域の製粉工場、製糖工場やでん粉工場、乳製品工場などと密接な関係のもと、地域経済・社会を支える基幹産業として重要な役割を果たしている。

しかし、農産物輸出大国との経済連携交渉が北海道農業に大きな影響を及ぼしており、日豪EPAを上回るTPP11、それを超える日EU・EPAへと、自由化ドミノのように農畜産物の市場開放が次々に進められている。多くの国民や農業者の懸念事項が払拭されないまま、TPP11協定は本年12月30日に発効し、日EU・EPA協定も来年2月に発効される見通しとなっている。

こうした中、米国政府が検討していた輸入自動車25%の追加関税を見送る代償として、新たに二国間による物品貿易協定交渉の開始に合意したことは、一層の農畜産物の市場開放へと繋がる恐れがある。重要農畜産物の多くを抱える北海道や本町農業への甚大な影響に加え、取り巻く地域経済にも多大な影響が危惧されるため、地域住民や農業関係者などからは強い懸念の声があがっている。

よって、国は米国との物品貿易協定交渉に当たっては、次の事項について十分配慮するよう強く要望する。

記

1. 日米物品貿易協定交渉は、TPP水準を交渉のベースとしているが、米国政府の強硬姿勢によって、更なる高い水準での農畜産物関税の削減・撤廃等を求められる恐れがあることから、毅然とした姿勢を貫き、安易な農畜産物関税協議は行わないこと。

人事 案件

公平委員会委員



越前谷徹氏の選任
(新任)に同意しました。
【任期】平成31年1月1
日～平成34年12月31日

固定資産評価 審査委員会委員



金岩和恵氏の選任
(新任)に同意しました。
【任期】平成30年12月22
日～平成33年12月21日

人権擁護委員



井上善晴氏の推せん
(再任)に同意しました。
【任期】平成31年4月1
日～平成34年3月31日

監査委員



谷田進太郎氏の選任
(再任)に同意しました。
【任期】平成31年1月1
日～平成34年12月31日

教育委員会委員



月輪淳裕氏の選任
(再任)に同意しました。
【任期】平成30年12月20
日～平成34年12月19日

人権擁護委員



諏訪英敏氏の推せん
(再任)に同意しました。
【任期】平成31年4月1
日～平成34年3月31日

台風21号倒木事故に係る和解及 び損害賠償の額の決定について

平成30年9月5日未明の台風21号に伴う強風により、本町所有の台山共同墓地敷地内の樹木が倒れ、6基の墓石に損害を与えました。損害賠償額は、墓石修繕費相当額で、総額は524万8584円です。

なお、本町が加入している全国町村会総合賠償補償保険より、その全額が町に給付されました。



台風による倒木被害を受けた墓石

5 議員が一般質問

榑崎忠彦 議員

- ①災害情報の伝達手段・体制は

重山雅世 議員

- ①一部損壊被災者への固定資産税等の減免を
- ②病児・病後児保育の実施は

千葉清己 議員

- ①会計年度任用職員の期末手当は

友成克司 議員

- ①観光協会の今後の展望は

土井道子 議員

- ①運転免許返納者に対する支援は
- ②資料の保存場所の確保を

町政に
ここが聞きたい





榎崎忠彦 議員

議員 北海道胆振東部地震では、厚真町で最大震度7、本町では震度5弱の揺れが観測され、間もなくブラックアウトにより北海道全域が停電となり、全町民ひとしく不安な朝を迎えた。

町では「災害対策連絡会議」を開催、6日朝には16箇所の指定避難所を開設、被害状況の確認と対応などに取り組んだ。

近年の災害においては、いつどこで誰が被災するかわからない。被害の記憶を忘れないために今回の地震、その後に発生した停電、この体験を共有、記録し、次の世代につなげていくことは、行政、地域そして私たち一人ひとりが取り組むべき課題ではないか。

①職員が参集体制及び災害時の人員配置について。

②災害情報の伝達手段と伝達体制について。

③指定避難所の電源確保

及び指定避難所の見直しについて。

④防災意識の普及及び防災教育の取組みについて。

町長 ①職員防災初動マニュアルに基づき、主査以上の職員が参集する「第2警戒配備体制」を執り、その後、課所長以上で構成する「災害対策連絡会議」を設置した。また、避難所は職員2人



栗山小学校で行われた1日防災学校

体制の6時間交代で延べ190名を避難所運営に配置した。

②伝達手段は、町ホームページでの情報掲載、町内会長等への電話連絡、町広報車と消防署サイレンによる広報をした。

伝達体制は、総務対策部を中心としたが、伝達の課題が浮き彫りとなったことから、平成34年度までにコミュニティ放送

局を開設し、「緊急告知FMラジオ」の配布を行いたい。

③非常用電源は、南部公民館、改善センター、スポーツセンターにはあるが、その他の避難所にはないため、移動用の発電機で対応した。指定避難所の見直しの予定はない。

④町内会等の7か所で防災研修会を開催するとともに栗山小学校で「1日防災学校」を行った。

再質問

議員 緊急災害時情報伝達網の作成しては。

町長 早期に作成を進めていきたい。

議員 栗山町総合防災訓練で指定避難所開設・運営の研修をプログラムに追加してはどうか。

町長 地域と連携した避難所開設や情報伝達の訓練に取り組みたい。

質問は要約されています

議会だよりではスペースの都合上、審議した議案や質問・答弁の内容を要約して載せています。

会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。



重山雅世 議員

拡大することは考えていない

議員 北海道胆振東部地震の住宅被害の約83%が一部損壊である。本町の災害救助法に基づく罹災証明書及び被害届出証明書の発行数14件のすべてが一部損壊である。

①一部損壊被災者に見舞金等の町独自の支援は。

②固定資産税・国民健康保険税減免制度の対象を一部損壊被災者に拡大はしては。

③福祉避難所を利用する可能性がある対象者数と収容可能人数は。

④高齢者・障がい者などの「要支援者」一人ひとりの避難方法を定めた個別計画を策定しては。

町長 ①北海道義援金配分委員会より、被災市町村に義援金が配分され、本町においても重傷者への見舞金と合わせ、生活支援金として住家被害で一部損壊と判断された世帯に見舞金が配分されているため、独自の支援策を行う予定はない。

②減免などの区分に関しては国が定める災害の被害状況に応じた判定基準により、地方税法、国民健康保険法に定められている。本町は、その基準により減免要綱等を定め対応しているの、一部損壊まで拡大することは考えていない。

③避難行動要支援者名簿登録者のうち重度と思われる約150人とその家族を想定している。

④モデル地区などの設定を検討し、行政と地域が連携して、個別計画の作成に向けてマニュアルづくりを進めたい。

再質問

議員 「人にやさしい住宅助成事業」の耐震改修の補助要件を追加しては。

町長 耐震性能を向上させるような工事と合わせて実施する場合について制度要綱の見直しも含めて一部損壊住宅への復旧支援について検討する。

子育て支援

病児・病後児保育の実施は

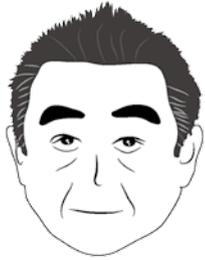
町民意見の聞き取りをする

議員 本町の「いちい保育園」で10月にインフルエンザが大流行して、園児の半数約70人が罹患したと聞いている。子どもの熱が下がって5日間仕事を休めない保護者がいることから病児・病後児保育を望む声がある。道内では、江別市・北見市・長沼町などすでに取り組んでいる自治体もある。実施に向け場所、人的配置体制、実施時期等、保護者負担の見解を伺う。

町長 町内医療機関や保育所、ファミリーサポートセンター等との意見交換を行い、実施方法・場所、人的配置や費用等について整理し、実施時期を検討していきたい。



様々な子育て支援が進むなか、いざというときの病児・病後児保育の実施が待たれる



千葉清己 議員

人事政策

会計年度任用職員の期末手当は

常勤職員との均衡を踏まえ整理

議員 昨年、5月に地方公務員法及び地方自治法の一部改正法が成立したので、昨年の12月議会で「会計年度任用職員」について、質問したところ、「平成31年の早い時期に条例提案をする。手当が支給できるようなったが支給については総合的な判断をする。」との回答だった。

平成30年10月28日付けの北海道新聞の報道では非正規公務員は道内に6万3千人いて、年収200万円程度で働く官製ワーキングプアが問題となっている。「期末手当を支給する。」と答えたのは、7月時点で旭川市など107団体にとどまり、63団体が「他の自治体の対応を見たい。」との回答で様子見の団体も多いとあった。



行政活動は多くの臨時・非常勤職員に支えられている

①前回の質問から1年が経過しているが、改めて現在の制度の導入スケジュールの進捗状況について質問する。

②栗山町も常勤職員との均衡を図る事が基本であることから会計年度任用職員には期末手当を支給すべきと考えるが、どう考えているか。また、会計年度任用職員制度の導入については職員団体との協議が欠かせないので合意の上、条例提案をされたい。

町長 昨年5月、地方公共団体における行政需要の多様化に対するため「会計年度任用職員制」が創設された。改正後は地方公務員法で一般職に適用される各規定が適用されるので、これまでの運用を抜本的に見直す必要があり、平成32年4月1日からの実施に向け、制度構築を図らなければならぬ。

①臨時・非常勤職員の統一的な実態把握、任用・勤務条件等について検討作業を進めている。平成32年1月以降に募集を開始するので、希望者については全員を雇用する前提で、平成31年12月定例会で関係条例等の提案を考えている。

②手当支給の考え方等、今年10月に国から事務処理に関する改訂マニュアルが示されているので、それらをもとに、今までの実情及び任用実態を考慮し、常勤職員との均衡を踏まえ、整理をしていきたい。

栗山町議会は政治倫理条例を制定しています

- ・納税義務の履行、品位を保持し、不正の疑惑を持たれる行為をしません
- ・地位を利用して金品を受け取りません
- ・個人又は特定の企業、団体等のために不正な取り計らいをしません
- ・町職員の採用、昇任又は人事異動に不当な関与をしません
- ・政治的又は道義的批判を受けるような寄附等を受けません

観光協会の今後の展望は

官民一体の組織構築を検討

観光政策



友成克司 議員

議員 国の経済疲弊は本町にとつても例外ではなく、農業の縮小や雇用の中心である第二次産業は空洞化が著しく今後も企業の誘致には困難が予想される。そこで、栗山の歴史や環境、魅力、まちづくりの姿勢等について情報発信し、「まず栗山に足を運んでもらうこ

と」に努力することが必要である。その役割を果たすのが「観光協会」ではないか。本町の現状は、本来担うべき取組みの観光による町の活性化とは程遠い内容となっている。しかしながら、私の予算委員会での質問に対する答弁では「観光連携推

進会議が母体となり、今後新たな観光体制を検討していく」とあり、待望視していた新しい夢に向かって糸口が開かれてくるものと感じる。現在の観光協会を見直し、新しい時代に対応する本町の観光協会の体制の確立を願ってやまない。

①観光協会の本来の役割



観光協会が開設している総合案内所

と今後への展望は。
②「観光連携推進会議」の将来へのビジョンは。
③運営を官民一体とし、地域おこし協力隊を導入しては。

町長 ①私は栗山観光協会が果たすべき役割として、不十分であると認識している。今後、町、関係する企業団体と連携協力を図り、観光客、交流者等の情報を客観的把握、分析、管理に基づく戦略的な観光事業等の役割を期待している。

②観光推進組織は様々なイベントの実施や観光交流拠点施設として計画しているマロンプラザにおける実施事業・管理運営を担うことも想定している。

③新たな新組織の構成は、地域おこし協力隊も含め、交流・宿泊事業・農業・商工会議所など官民一体の組織体制の構築に向け、検討する。

議会中継をご自宅で見ることができます

議会では、インターネットによるライブ中継（生中継）と録画配信をしています。栗山町議会ホームページからご覧ください。

<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/gikai/index.html>





交通安全

運転免許返納者に対する支援は

ハイヤー・バスの助成を併用して支援

土井道子 議員

①移動距離数に対応したハイヤー利用料金の助成制度の確立は。
②高齢者の運転講習会の定期開催は。
町長 運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢運転者に対し



コミュニティバスは免許返納後の支援策のひとつ

議員 今年10月まちづくり懇談会で、平成31年度から高齢者運転免許証保有者の支援について説明したことは、これまでの取り組みから一歩前進し評価する事業と思っている。平成28年12月時点で、70歳以上の免許保有者は、約1300人であり、返納した人はそのうちの4%となる。居住地区によっては、一定の支援制度では生活できない住民もいることを考慮して、次のような支援策ができないか。

①移動距離数に対応したハイヤー利用料金の助成、または町営バス及びコミュニティバスの回数券を支給する。希望者には、ハイヤーとバスの二つの助成を併用して支援する。併せて運転経歴証明書発行手数料を助成する。
②個々の移動距離数の把握が難しいことから考えてはいいない。
③関係機関や団体などについて検討する。

町長 ①本町の足跡をたどる時勢を読み解く貴重な財産であり、積極的な収集活動と適正な保存を

①町史編さん室や開拓記念館などの書庫が狭いため、既存の公共施設を活用して保存場所を確保できないか。
②栗山町で発行された行政資料や住民の自費出版物を、道立図書館や国会図書館に納本する仕組み

議員 本年、開拓130年を迎え11月に盛大な式典が開催された。そのときの映像や出版物はこれまで収集保存されてきた資料が基になっているが、更なる収集活動をするために次の取り組みができないか。

町長 ①本町の足跡をたどる時勢を読み解く貴重な財産であり、積極的な収集活動と適正な保存を

②栗山町で発行された行政資料や住民の自費出版物を、道立図書館や国会図書館に納本する仕組み

町長 ①本町の足跡をたどる時勢を読み解く貴重な財産であり、積極的な収集活動と適正な保存を

町長 ①本町の足跡をたどる時勢を読み解く貴重な財産であり、積極的な収集活動と適正な保存を

町長 ①本町の足跡をたどる時勢を読み解く貴重な財産であり、積極的な収集活動と適正な保存を

町長 ①本町の足跡をたどる時勢を読み解く貴重な財産であり、積極的な収集活動と適正な保存を

資料保存

資料の保存場所の確保を

既存施設を活用



開拓記念館には貴重な歴史資料が保存されている

広報広聴常任委員会 政務調査報告

調査先：埼玉県寄居町議会・東京都福生市・
東京都あきる野市議会
日程：平成30年10月24日～26日
派遣議員：三田源幸・藤本光行・重山雅世・
置田武司・千葉清己



議会だよりの編集について

埼玉県寄居町議会

埼玉県寄居町議会は「お元気ですか 寄居議会です」として広報誌を発行しており、平成29年度全国町村議会広報コンクールで最優秀賞を受賞している。

読まれる議会だよりのポイントとして、①読み手側に立つ。議事録ではないので市民の関心が高い議案を要約し掲載する。②見出し、写真を見ればわかる広報に。写真は1ページ（記事）に1

枚以上の人物や動きのあるものを掲載する。③市民参加の広報に。市民の声を写真とあわせて掲載し、一方通行にならないなどの努力をされている。

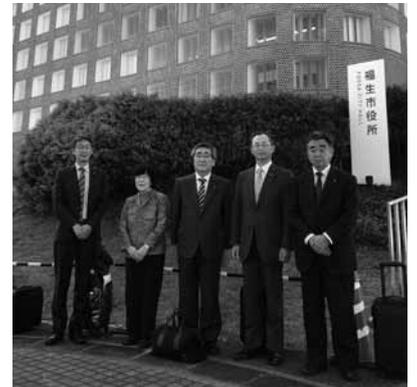
特に89号は、報告会を中心に70人もの市民の顔写真があるのに驚いた。

また、編集会議には委託業者も出席し、一緒に議会だよりの作り上げているなど学ぶところは多かった。私たちも一人でも多くの市民に手に取って読んでいただける議会だよりの作っていききたい。

新公会計制度の運用について

東京都福生市

福生市は東京都の多摩地域に位置する人口約5万8千人の市である。市内には米軍横田基地があり、基地を除いた行政面積は約6・84平方キロメートルと、栗山町の30分の1という小面積の



自治体である。

今回の視察の目的は、福生市で行っている発生日義、複式簿記の採用による地方公会計制度の取り組みについて学ぶことである。

近年、自治体の総合的な財務管理（現金以外の資産や負債を含めたもの）の必要性が叫ばれている。

今、自治体が抱える大きな問題の一つは老朽化が進む各公共施設の維持更新と多額のランニングコストが見込まれるインフラ施設の維持である。

このような自治体が管理する固定資産を含めた財務管理ができるのが地方

公会計制度であり、これからの自治体財政運営の目指すべき一つの方向であると感じ、将来を見据えた自治体運営を考えたならば、早期に検討すべきことではないかと感じた。

議会だよりのリニューアルについて

東京都あきる野市議会

あきる野市は、人口約8万人、世帯数約3万5千世帯の東京都の多摩地域西部に位置する市である。

市議会では議会改革をまず、広報紙の改革から進めた。読まれる広報づくりを目指し、議員で調査研究グループを作り、1年間にわたって検討を重ね、リニューアルを決定した。

興味を引く特集と表紙の作成でターゲットを絞り、名称を「ギカイの時



間」とし、読みやすさを優先し、ホワイトスペースを活用、統一感を重視した結果、市民アンケートで「議会だよりを読んでいる・読んだことがある」が57%に達した。課題は、配布方法が新聞折込みのため、2万5千世帯にしか届いていないことや内容が特集と一般質問に特化しているため、議員の議案に対する賛否の状況が伝わらない等がある。

当議会においてもアンケートなどは検討できるので、読まれる広報紙づくりに参考になった。



平成31年議会報告会

皆様のご意見をお聞かせください

議
会

- ◎議会活動について
- ◎議員のなり手問題について

ま
ぎ
ま
が
い
り

- ◎第6次総合計画の見直しについて
- ◎町政上の重要課題について
- ◎それぞれの地域の課題について

栗山町議会は徹底した情報公開と住民参加を目指します

A班	月日	曜日	場所	時間
 三田源幸 議員  榑崎忠彦 議員  大井賢治 議員  千葉清己 議員	2月3日	(日)	松栄団地集会所	午後1時
	2月6日	(水)	ときわ会館	午後6時30分
	2月7日	(木)	角田農村環境改善センター (※鶴川議長出席)	午後6時30分
	2月9日	(土)	円山文化センター	午後3時

B班	月日	曜日	場所	時間
 藤本光行 議員  置田武司 議員  土井道子 議員	2月5日	(火)	日出生活館	午後1時
	2月6日	(水)	南部公民館 (※鶴川議長出席)	午後6時30分
	2月10日	(日)	鳩山中央公民館	午後1時
	2月11日	(月)	朝日会館	午前10時

C班	月日	曜日	場所	時間
 友成克司 議員  重山雅世 議員  大西勝博 議員  佐藤則男 議員	2月3日	(日)	阿野呂公民館	午前10時
	2月4日	(月)	12区会館	午後6時30分
	2月5日	(火)	カルチャープラザEki (※鶴川議長出席)	午後6時30分
	2月10日	(月)	南学田公民館	午後3時

3月定例会の開会日

3月5日～

議会の予定

1月 21日(月)	中長期財政問題等調査特別委員会
2月 3日(日) ～11日(月)	平成31年議会報告会 (町内12会場)
3月 1日(金)	議会運営委員会
5日(火)	第1回定例会
～20日(水)	(会期中に予算審査特別委員会)

議会の予定は変更になる場合があります。議会事務局または議会ホームページでご確認ください。



議会に行こう！

傍聴 は議会活動に触れる最も身近な方法です。皆さんの選んだ議員の活動や町政の方針などを、ぜひご覧ください。会議当日の受付で傍聴できますので、役場旧庁舎3階の傍聴席入口までお越しください。

くりやまぎかいだよりNo.158

2019年2月1日発行

発行／北海道栗山町議会

編集／広報広聴常任委員会

〒069-1512

北海道夕張郡栗山町松風3丁目252

Tel 0123-73-7517/Fax 0123-72-1233

<http://www.town.kuriyama.hokkaido.jp/gikai/>

E-mail gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

印刷／山東印刷株式会社



問伐で未来につなぐ北の森

ひとこと

「栗山のいいところ」

成田 貴則さん(朝日3)



そらち南農業協同組合への勤務と同時に栗山町へ移住して5年目に入ろうとしています。栗山に来たときは妻と2人でしたが、2016年に長男が、2018年に次男が生まれ、今では4人家族となり、毎日笑い声や泣き声を聞きながら、来年の年男を控え賑やかに過ごしております。

栗山へ来る前は札幌で生まれ育ち、余市町にも居住しておりました。それぞれの街へ住んでみて良いところが各々ありますが、栗山町はとても住みやすい街だなと感じます。町内でおおかたの用事は済ませることができ、街並みはきれいで、札幌や空港へも1時間ほどで行け、意外と便利な町だなと感じました。

特に驚いたのは、老舗祭りや栗山天満宮のお祭りの賑わいです。お祭りは小さいころに行ったきりで、なかなか行く機会がなかったですが、栗山町に来てからは家族で毎年楽しみにしている行事の一つになっています。また、2023年に北広島市にできる予定の北海道日本ハムファイターズのボールパークが近いのでそれも今から楽しみです。

ここで、仕事で携わっている栗山町の農業のご紹介を少しさせていただきます。栗山町の基幹産業である農業は、水稻を主体に馬鈴しょ、玉ねぎ、長ネギ、南瓜、イチゴ、和牛素牛生産などなど多種多様な形態でなされております。農家さんが丹精込めて作った新鮮でおいしい安全安心な農産物は栗山町内で買えるほか、8月に開催されるJ Aそらち南の農業祭でも販売しておりますので、ぜひお買い求めください。

最後に、まだまだ寒い日が続きますが、皆さまお身体壊さないようにお気を付けください。今年一年が皆様にとって素敵で良い年になりますようにご祈念申し上げます。

表紙の一枚！



大人も子どもも
お疲れさまでした！

撮影
佐藤



広報広聴常任委員会(広報小委員会)

委員長／三田源幸 副委員長／土井道子

委員／佐藤則男 重山雅世 大井賢治 千葉清己

町議会のくわしい情報は栗山町議会ホームページへ [栗山町議会](#) [検索](#)